

News 05 児童相談所建て替えについて



News 06 子ども食堂の手数料を廃止、営業許可不要、規制緩和へ

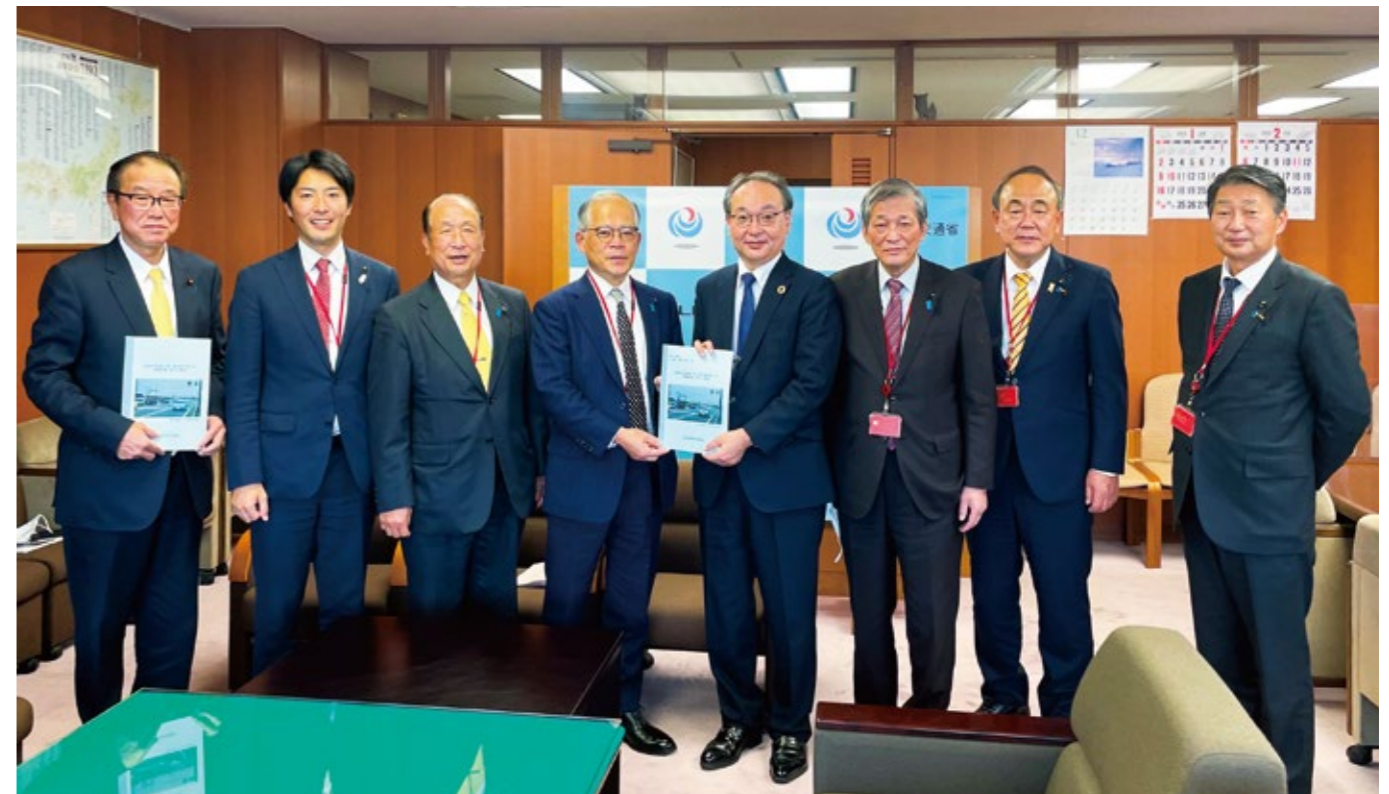


令和2年6月の予算特別委員会にて、子ども食堂のように福祉目的で食事提供を行う団体に対して営業許可に必要な8,400円の手数料の廃止を求め、子ども食堂をより開設しやすくするように求めました。その時は検討するという回答でしたが、それから県担当者とも話を重ね、今回手数料8,400円の廃止と、営業許可が不要となりました。コロナ禍において子どもの貧困の数が増える中、子ども食堂がより活発になり救われる子どもが増えることを期待します。

富山県議会議員 大門良輔 県政報告

DAIMON News Vol.06

皆さまと富山県政をつなぎます。 2022年3月発行



日頃よりお世話になっております。昨年の10月に行われました衆議院選挙におきまして、富山第2選挙区から、自民党の公認候補の上田英俊氏が当選しました。当選して早速、滑川市から朝日町までの県議会議員が上田英俊衆議院議員に同行し国道8号の整備について国交省の吉田技官、村山道路局長、そして佐藤信明参議院議員に要望をしてまいりました。その足を運んだ甲斐もあり、補正予算では魚津の江口から黒部の古御堂間の4車線化に向けて予算が2億円計上されました。滑川市からも魚津市や黒部市に出勤される方が多く、通勤時の渋滞が激しい場所として4車線化は重要な課題だと訴えてきました。その一歩が進んだことは感慨深いものがあります。また滑川市の稲泉交差点は令和5年度に左折専用レーンが完成いたします。これからも国道8号は新川地域の人流や物流の大切な大動脈としてより利用しやすく、安全な道路となるように進めてまいります。

News 01 活動報告



県道黒川滑川線要望活動
自民党県議会の政調会と地元の町内会の方々と県道黒川滑川線の要望活動を行いました。



デジタル庁の江崎CA訪問
昨年9月にできたデジタル庁の江崎CAと今後のデジタル化について意見交換を行いました。



横田副知事と笑農和視察
農林水産省出身の横田副知事と共に滑川市の笑農和を訪問しスマート農業について視察を行いました。

大門良輔プロフィール
【だいまん・りょうすけ】1985年3月26日、富山県滑川市に生まれる。高月保育園、田中小学校、滑川中学校、桜井高等学校を経て金沢工業大学情報工学科卒業。(株)ホクエツ北陸勤務後、政治家の道へ。2017年11月、滑川市議会議員初当選。2019年4月、富山県議会議員初当選。特技は、テニス。現在、祖母・父・母・妻・子ども2人の四世代で生活。
【所属】地方創生産業委員会副委員長／自民党青年局副局長／県東部活性化委員会事務局／富山県ソフトテニス協会副会長／滑川市ソフトテニス協会会長／滑川市ゲートボール協会会長／アルプス少年野球リーグ会長／(一社)滑川青年会議所理事長／滑川消防団第一分団

大門良輔へのお問合せはこちら

大門良輔事務所 〒936-0078 富山県滑川市高月町561
TEL ▶ 076-475-0455 FAX ▶ 076-475-9888
E-mail ▶ ryousekudaimon0326@gmail.com
URL ▶ https://daimonryousuke.jp/

お待ちしております。

News 02 | 令和3年9月予算特別委員会



Q 創業支援センター及び創業・移住促進住宅について

「創業支援センター及び創業・移住促進住宅」について、民間の活力を積極的に活用し、行政の枠にとられない自由な発想で運営していくことが重要であると考え、どのように取り組むのか、問う。

三牧知事政策局長

ベンチャー支援協議会でも民間委員にアイデアを頂く予定だ。また、センターと住宅を一括した運営業務とし、職住一体の施設の特徴も活かして創意工夫できる仕組みとしたい。事業者が、建物管理、創業支援、移住交流など複数の機能について、自由な発想で施設が運営できるよう、指定管理料の上限額も適切に設定したい。

Q 富山児童相談所の機能強化に向けて

富山児童相談所の機能強化を検討していくうえで、児童相談所、医療的ケア児等支援センター、県リハビリテーション病院・子ども支援センターは、1か所に集約すべきと考え、所見を問う。

厚生部長

機関の集約化については、例えば、知的障害児に医療的ケアが必要な場合や、虐待を受けた子どもに心理面の診断・治療が必要な場合などに、同一箇所で相談や療育支援を受けることができることは利便性に資する考え、これからも検討していきたい。

Q 新型コロナウイルス感染拡大に対する今後の対応について

想定以上の感染爆発となった第5波の経験を糧に、今後の感染急拡大に向け、対応方針の変更やいわゆる野戦病院の設置等の想定外の事案への対応などの備えをしていくべきと考えるが、所見を問う。

新田知事

療養できる宿泊施設を新たに確保するとともに県民の皆さんに安心してご自宅でも宿泊療養施設でも病院でも安心して療養いただける環境の整備・強化に努めてまいりたい。野戦病院については、適切な場所の選定・確保、また一般医療やコロナ患者対応をしている医療スタッフをどのように確保するかなど大きな課題であるが、引き続き検討してまいりたい。

Q 学校給食への有機農産物の取り入れについて

学校給食について、まずは地元農産物の活用を図る地産地消の促進から始め段階的に有機農産物を取り入れていくことが有効であると考え、所見を問う。

堀口農林水産部長

県としては、「とやま有機・エコ農業パワーアップ協議会」などにおいて、学校給食に必要な品目や品質、数量を効果的かつ安定的に確保していく取り組みを推進するとともに、有機農産物の活用拡大に向けた方策などについても、市町村等とともに検討してまいりたい。

Q 障害者就労施設について

障害者就労施設を支援するためにも、県での障害者就労施設からの調達業務について、全庁を挙げて見直しを図っていく必要があると考え、所見を問う。

厚生部長

優先調達のさらなる拡大を図るため、国の交付金を活用し、優先調達のための予算を上積みし、優先調達に取り組む所属の拡大や、発注単価の向上につなげていきたい。件数も多いが単価が低い現状もあり、全庁を挙げて優先調達に取り組み、障害者就労施設を支援してまいりたい。

News 03 | 成長戦略会議



富山県の新たな成長を目指して富山県成長戦略会議が富山県にゆかりのある著名人をお招きして行われ、中間の取りまとめが行われました。そのことを受け富山県では各市町村を回り、ビジョンの共有と意見交換が行われました。滑川市では11月30日に滑川市児童館で新田知事もお越しになり市民の皆さんと意見交換されました。その場では、幅広い世代の方が集まり富山県や滑川市の今後の未来についてアイデアを出し合いました。参加者は新田知事と直接話をする機会もあり、良い雰囲気の中、開催されました。今後は出たアイデアも参考に成長戦略がつくられていきます。

富山県成長戦略のビジョン

幸せ人口1000万 ~ウェルビーイング先進地域、富山~

成長戦略の6つの柱

- 01 真の幸せ(ウェルビーイング)の向上
- 02 まちづくり戦略
- 03 ブランディング戦略
- 04 新産業戦略
- 05 スタートアップ支援戦略
- 06 県庁オープン化戦略



詳しくはこちら
富山県HP

News 04 | 事業復活支援金

新型コロナウイルス感染症の影響により、大きな影響を受ける中堅・中小・小規模事業者、フリーランスを含む個人事業主を支援する、国の新たな給付金「事業復活支援金」の申請受付が始まりました。

- 申請期間 2022年1月31日(月)～5月31日(火)
- 給付額 ・中小法人等 上限最大250万円 ・個人事業者等 上限最大50万円を支給します。
- 給付額 基準期間^{※1}の売上高-対象月の売上高×5か月分

給付上限額	売上高減少率	個人	法人		
			年間売上高 ^{※2} 1億円以下	年間売上高 ^{※2} 1億円超～5億円以下	年間売上高 ^{※2} 5億円超
▲50%以上		50万円	100万円	150万円	250万円
▲30%以上50%未満		30万円	60万円	90万円	150万円

※1 2018年11月～2019年3月/2019年11月～2020年3月/2020年11月～2021年3月のいずれかの期間(基準月を含む期間であること)
※2 基準月を含む事業年度の年間売上高

●給付対象

- ①と②を満たす中小法人・個人事業者が給付対象となり得ます。
- ①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者
- ②2021年11月～2022年3月のいずれかの月(対象月)の売上高が、2018年11月～2021年3月の間の任意の同じ月(基準月)の売上高と比較して50%以上又は30%以上50%未満減少した事業者

詳細については、事業復活支援金事務局のホームページにてご確認ください。右の二次元コードからご覧いただけます。(https://jigyuu-fukkatsu.go.jp/)



事業復活支援金事務局HP